

2009 Xmas コンサート

SK松本ジュニア合唱団



長野県県民芸術祭参加

2009年12月20日(日)
開演14:00

長野県松本文化会館大ホール

主催 SK松本ジュニア合唱団
(財)長野県文化振興事業団松本文化会館
長野県 長野県教育委員会

後援 松本市 松本市教育委員会 信濃毎日新聞社
市民タイムス SBC信越放送
テレビ松本ケーブルビジョン
SK松本ジュニア合唱団後援会

助成 財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団



昨年のコンサート「沖縄のスケッチ」より



SK松本ジュニア合唱団
団長 芦田勝弘

本日は年末を迎え何かとお忙しい中「SK 松本ジュニア合唱団 2009 クリスマスコンサート」に御来場頂きまして誠にありがとうございます。

当合唱団は 1993 年の SKF (サイトウキネンフェスティバル) が上演したオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成され、SK の文字を誇りに、地域に愛される合唱団を目指し活動を続け、16 年の歴史を重ねるまでになりました。

今年の 1 月には合唱団創設 15 周年を記念して、初めての海外遠征を行いました。音楽の都ウィーンでの演奏会に出演、また「サウンド・オブ・ミュージック」の故郷ザルツブルクを訪問しました。大勢の方々の支援によって達成することができた今回の国際交流事業では、楽友協会ホールでの演奏や教会でのミサ曲の演奏など、多くの得がたい体験を積むことができました。これらの経験は次代を担う子ども達に達成感と共に大きな自信を与えてくれました。子ども達にはこうした体験や素晴らしい音楽を作り上げる感動を通して豊かな感性を育み、伸び伸びと育てて欲しいと心から願っています。

今年のコンサートでは海外遠征を記念して「サウンド・オブ・ミュージック」からの曲を取り上げました。トラップ家の子も達とマリアとの心の触れ合いや舞台となったザルツブルクの街並み、雄大なアルプスの景色を感じて頂ければ幸いです。またミサでは教会のホールにも響いた天使の歌声のような素晴らしいハーモニーをお楽しみください。

改めてご指導の先生方、長野県松本文化会館関係の皆様方、またご支援を頂いている多くの方々に感謝申し上げ、これからも SK 松本ジュニア合唱団を温かく見守り、育てて頂くことをお願い申し上げましてご挨拶と致します。本日のコンサートを充分にお楽しみ下さい。



長野県松本文化会館
館長 堀内征治

今年 1 月、音楽の殿堂であるウィーン楽友協会ホールで、「長野県合唱祭 in ウィーン」が開催されました。そのコンサートで、ホールに響いた SK 松本ジュニア合唱団の歌声は、それは、それは素晴らしいものでした。超満員の聴衆が、満面の笑みを湛えて、ひととき大きな喝采を送ってくださったこと、その拍手がいつまでも鳴りやまなかったことは、印象的で忘れられない出来事です。それは、そのコンサートの主宰の一人であった私が、SK 松本ジュニアの皆様からいただいた「長野県人としての大きな誇り」でもありました。

ご縁を得て、この 4 月から長野県松本文化会館での任を賜り、SK 松本ジュニア合唱団とは、さらに親しい関係を持たせていただけることとなりました。そして、本日ここに、海外への飛躍を果たした成果も込めて、「2009 クリスマスコンサート」が盛大に開催されますことは、誠にご同慶の至りでございます。指導の皆様をはじめ、ご尽力いただいた関係者すべての方々に感謝申し上げます。

世界では、まだ争いが続く地があり、国内も不況から脱しきれない状況です。このような不安なときこそ、心をひとつにして歌うことは、「平和」を希求する大切なメッセージだと思います。これからの時代を背負う SK 松本ジュニア合唱団の皆様のご今日のエネルギーも、グローバルな平和につながっていくものと信じております。合唱団のますますの発展をお祈り申し上げるとともに、皆様のお力で、さらに大きく育てていただくことをお願いしてご挨拶といたします。



プログラム

指 揮 : 佐原玲子 / 白澤知代
ピ ア ノ : 渡辺かおる / 井垣里沙
指 導 助 手 : 白澤明子 / 片瀬友美

オープニング

WINDING ROAD

作詞・作曲 絢香 / 小淵健太郎 / 黒田俊介
編曲 富澤 裕

第1ステージ

「白いうた 青いうた」より

作・編曲 新実徳英
詞 谷川 雁

ともだちおばけ
自転車でにげる
ぼくは雲雀
ちいさな法螺
卒業
しらかば
南海譜
なぎさ道
ライオンとお茶を

第2ステージ

MISSA QUARTA

作曲 Bárdos Lajos

KYRIE
GLORIA
SANCTUS
BENEDICTUS
AGNUS DEI

休 憩

第3ステージ

ウィーン・ザルツブルク海外遠征記念

「サウンド オブ ミュージック」

曲：Richard Rodgers 編曲：大田 桜子 詞：Oscar Hammerstein II

詠 唱

朝の讚美歌

サウンド・オブ・ミュージック

原 梨香 日本語詞

私のお気に入り

竹中三佳 日本語詞

もうすぐ17才

青島広志 日本語詞／編曲

ドレミのうた

ペギー葉山 日本語詞

ひとりぼっちの羊飼い

あらかわひろし 日本語詞

エーデルワイス

阪田寛夫 日本語詞
ギター演奏 宇原森路

さようなら、ごきげんよう

竹中三佳 日本語詞

すべての山に登れ

北野 実 日本語詞

歌うことを忘れてしまった

トラップ家の人々。

家庭教師としてやってきたマリアに、

子どもたちは歌の楽しさ、自然の美しさ、

人間のやさしさを教えてもらい、

子どもらしい心を取り戻すことができました。

ナチスの強い力に立ち向かい、

トラップ大佐、マリアと共に、

子どもたちは

自由をもとめて山に登ります。



ウィーン旅行記

海外演奏旅

2009.1.4~1.11

ウィーン



成田 → ウィーン・WIEN

初めての海外遠征は小学6年生からOBまでが参加し、音楽の都・ウィーンへ。音楽の殿堂ともいわれる楽友協会での公演が、今回の一番の目的でした。

到着の翌日は、まずホールでのリハーサル。天井に描かれた芸術の女神ミューズが見守る中で、動きや響きを確認しました。

その後、お楽しみの市内観光へ。舞踏会も開かれるという市庁舎の地下にあるレストランで昼食。日本人向けに半分の大きさという「ヴィーナーシュニッツェル」はそれでもびっくりするほどの大きさ。お腹をいっぱいにして、「シェーンブルン宮殿」や「ヨハンシュトラウスの金の像」、「国立オペラ座」などきらびやかなウィーンを楽しみました。

そして公演当日。午前中はウィーン郊外のヤマハホールで練習を。日本からの移動の疲れや本番を前にした緊張をやわらげてくれたのは、なぜか懐かしい昼食のハンバーガー。見たこともないくらい大きいXXLサイズのハンバーガーに、ちょっとホッとした団員たちでした。

午後はホテルのミーティングルームを使って最後の練習。衣装をつけ、メイクをして…、次第に本番モードに入り、顔付きもきりっとしました。

公演では「沖縄のスケッチ」（曲：寺嶋陸也 詞：沖縄民謡 谷川俊太郎）から「久高」・「あかなー」・「唐船どーい」を演奏しました。ウィーンの観客でいっぱいになったホールに、息のあった踊りと歌声が響きました。ブラボーの声も掛かり、公演は大成功でした。

楽友協会で歌うという願ってもない機会を得て、そこにむけて積んだ練習。当日の拍手。この公演がもたらしてくれた経験は、これからの大切な糧になると思います。こうした機会を応援して下さった方々に心からお礼を申し上げたいと思うとともに、これからもSK松本ジュニア合唱団がこの歌声を絶やすことなく活動を続けることが一番の恩返しだと思いました。



行記



2009 Xmas コンサート

リンツ・LINZ

公演の翌日には、アウトバーンを西へ走り 2009 年欧州文化首都・リンツへ。幸運にもブルックナーがオルガンリストを務めた教会などで歌うことができました。石造りの教会の響きは、今までに経験したことのないような美しさ。感激しました。

昼食の後、第 2 次世界大戦の負の遺産であるマウトハウゼン強制収容所記念館を訪れました。

記念館の人から説明を受け、強制労働をさせられた石切り場、拷問室、多くの命を奪ったガス室など、つらくとも目をそむけてはいけない歴史に触れました。戦争というもの、平和についてなど、多くのことを学び考えました。

見学の後に、収容所内のチャペルで自分たちの思いを込めて合唱を捧げました。参加した誰にとっても、忘れられない経験となりました。

リンツ



ザルツブルク

ザルツブルク・SALZBURG

モーツァルトの生まれた街、ザルツブルク。まずは新市街地にある「ミラベル宮殿」へ。映画「サウンド オブ ミュージック」のお出かけの場面でも有名な庭園がありました。冬だったのでちょっとイメージが違いましたが、映画の気分を少しだけ味わいました。

ついで中世の町並みそのままの旧市街地へ。世界遺産のここにはモーツァルトの生家やザルツブルク音楽祭が開かれる祝祭劇場、カラヤンの葬儀も行なわれた大聖堂等がありました。

翌日にはその大聖堂でミサ曲を。世界各地からの観光客も聴いてくださいました。とても広い大聖堂の中にみんなの歌声が満ち、天蓋のステンドグラスから射し込む光とあいまって、何だか夢を見ているような幸福なひと時でした。



ミュンヘン → 成田

国境を越えてドイツ・ミュンヘン。最終地での夕食は、旅の無事を祝して陽気に「ホーフプロイハウス」でいただきました。

長かったようであっという間の旅。仲間との絆をよりいっそう深め、たくさんの経験から多くの事を学ぶことができました。またいつかみんなで、歌=音楽という世界共通の言葉を携えて海外遠征に行けたら…と思います。

ミュンヘン





今年一年の活動

1/6

「長野県合唱祭 in ウィーン」参加

2/22

おともだちの日 (本郷公民館)



初めて会うお友達とも
あっという間に仲良し!
歌の輪・おやつのお輪がひろがります。



5/17

「第20回長野県少年少女合唱祭」参加
(大町市文化会館大ホール)



県内12の少年少女合唱団が大町に集まり、
発表しあいました。



8/29

サイトウ・キネン・フェスティバル歓迎演奏会
「お城deハーモニー」参加 (松本城二の丸御殿跡)



大勢の観光客の前で演奏しました。
ボーイズ&小学生の「崖の上のポニョ」には拍手喝采!

3/20

団内スプリングコンサート・卒団式
(長野県松本文化会館)



歌はもちろん、寸劇にダンス、たくさんの発表がありました。

笑顔と涙の卒団式。



8/10~12

夏合宿 (松本青年の家)



朝から夜まで歌・歌・歌…
そして最後にバーベキュー、楽しかった!!



11/1

「松本市芸術文化祭」参加
(松本市音楽文化ホール)



新型インフルエンザの流行にも負けず、元気に歌ってきました。

12/15

「西南ロータリークラブ・クリスマス会」出演

いっしょに歌う仲間、募集中です。

SK松本ジュニア合唱団では、クラシックからポップスまで幅広い曲を歌っています。
オーディションはありません。いつでも入団OKです。
一度見学にいらしてください。

■対象：小学生～高校生

■練習日：第1・3日曜日10：00～12：00

第2・4土曜日14：00～16：00

■練習場所：長野県松本文化会館 他

■指導者：佐原玲子 白澤知代 渡辺かおる
井垣里沙 白澤明子 片瀬友美

■団費：月額3,000円

お問い合わせ 長野県松本文化会館 TEL. 0263-34-7100

SK松本ジュニア合唱団 ホームページ <http://www.skmjr-c.com/>